

農業者年金制度の ポイント

農業者年金は、将来の年金給付に必要な原資を自ら積み立てていく「積立方式」で、長期的に安定した制度です。

加入要件は、**国民年金の第 1 号被保険者（保険料納付免除者でないこと）で、年間60日以上農業に従事する者は、誰でも加入することができます。**

保険料には、「通常保険料」と「特例保険料」があり、「通常保険料」は、月額20,000円から67,000円までの間で、千円単位で加入者が自由に選択し、

いつでも変更できます。

「特例保険料」は、政策支援（下記表 1 参照・国庫補助）を受ける場合の保険料です。

また、**支払った保険料の「全額が社会保険料控除対象」となり、税制面でも有利**となっています。

●次世代を担う若い**農業後継者等**に手厚い政策支援を行っています。

※政策支援を受けるには、年金納付期間が20年以上見込まれること及び農業所得が900万円以下であることが必要です。政策支援による保険料の月額は国庫補助額を含めて20,000円となります。

【表1】

| 区分 | 補助対象者 | 国庫補助額()は自己負担分 | |
|----|--|----------------------|---------------------|
| | | 35歳未満 | 35歳以上 |
| ① | 認定農業者で青色申告者 | 10,000円 (10,000円) | 6,000円 (14,000円) |
| ② | 認定就農者で青色申告者 | | |
| ③ | ①又は②の者と家族経営協定を締結し、経営に参画している配偶者又は後継者(経営主が農業者年金に加入していなくてもかまいません) | | |
| ④ | 認定農業者又は青色申告者のいずれか一方を満たす者で3年以内に両方を満たすことを約束した者 | 6,000円 (14,000円) | 6,000円 (14,000円) |
| ⑤ | 35歳未満の後継者で35歳まで(25歳未満の者は10年以内)に①の者になることを約束した者 | | — |

○新規加入者の声



い の もと あき ひと
井之元 明仁さん (未吉町南之郷)

井之元明仁さんは、両親と一緒に肉用牛（生産牛 40 頭、肥育牛 200 頭）の一貫経営をされています。平成 28 年に家族経営協定を締結。周囲からの勧めもあり、将来を見据えて 3 人同時に年金加入を決意されました。これからも経営規模拡大のために増頭を目指し、ドーム等の新設も計画されています。(写真=二世世代)

○農業者年金受給者の声



いわ きり かよ こ
岩切 加代子さん (未吉町深川)

岩切加代子さんは、睦夫（夫）さんと甘藷・にんじん・さといも・ごぼう・水稻などを耕作しながら一年中忙しい日々を過ごしています。

農業者年金は掛けるのが遅かったため多くは有りません。もう少し早くから掛けとけば良かったと後悔しています。

今後は、早く後継者へ譲って夫婦で趣味の旅行や温泉に行きたいと話されていました。